

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和元年度第6回）議事概要

日 時：令和元年10月4日（金）10：00～11：30

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室

出席者：中釜斉理事長、南砂理事、児玉安司理事、松本洋一郎理事、間野博行理事、北川雄光理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：なし

I. 前回（令和元年度第5回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・前回議事録署名人を南理事と増田監事に依頼。

II. 審議事項

1. 目的指定寄付の配分等について

資料に沿って説明され、審議された。

【主な意見等】

- ・独法制度上の基金は、大学法人で考えるとエンダウメントのようなものになっていると考えてよいのか。
- ・昨年度の税制改正で土地建物を寄付した場合について基金を設定しやすくなった。
- ・内容を十分に考慮しながら慎重に進めていきたい。

III. 報告事項

1. 東病院連携宿泊施設整備・運業者の公募結果（第一交渉権者決定）について

資料に沿って報告された。

2. 寄付金を活用した患者サービス向上のための施設（さくらテラス）整備について

資料に沿って報告された。

3. 人材育成管理運営会議について（中間報告）

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・がんセンターにどのくらいがんの専門医がいるのかについては、がんの専門医とは何なのか、最低限理解して欲しい部分にした方がいいのではないのか。
- ・中央と東の教育システム概念図が多少違っている。例えば、中央病院と東病院で微妙に必須研修と認定資格、専門資格などが少し違う記載になっているが何か理由があるのか。
- ・共通でないところはそれぞれの特色を活かしていく形となっている。到達目標の部分は同じ項目が並んでおり、中央病院も東病院もベースの部分は共通させつつ、それぞれ

れの病院の特色を活かしながら、例えば、東病院であれば EPOC の研修が入っており、独自性を出しながら魅力的なプログラムを作っていくことが重要ではないかという議論があった。

4. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

5. 広報実績等

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・NCC としてアクティブに広報活動しても良いのではないか。国民にがんをどのように理解してほしいかという観点で発信していくことも重要だと思う。
- ・ナショナルセンターとして、どのようなミッションを果たしていくかについて、ある程度国民に伝わって欲しい。HP 等でその為のメッセージを発信することには大きな意味があると思う。

6. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

7. 8 月分月次決算等

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・入院平均単価の部分、中央病院は 29 年度から 30 年度、30 年度から元年度に大体 5% 上昇、他方、東病院は 29 年度から 30 年度は 7% 位だったが、30 年度から元年度にかけてはあまり伸びていない。
- ・両院の差として一番大きい部分は骨髄移植の部分で、中央病院の方は症例数が多いが、東病院は基本対応していない。それに伴う高額薬品の使用も影響していると思われる。残りの部分は ICU の管理加算であり、東病院でも 9 月から算定が始まったので、多少は平均単価が上がると思われる。加えて、材料費が上がっている要因としては、膵がんのオブジーボが材料費が急激に昨年度より上がっている状況を作り出していると考えている。
- ・医療の提供と収支への影響についてお気づきの点があれば、また、ご指摘いただければと思う。